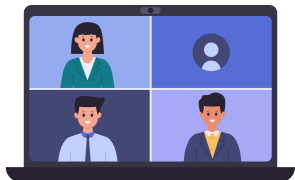


－ あなたの隣の「帰国者」のことを知っていますか－

中国残留邦人等の体験を伝える 「戦後世代の語り部」 講話会



オンライン開催



参加費
無料

日時

6月21日（土）

14：00－16：00

【Zoom入室13：30～】

申し込み
QRコード

場所

Zoomにてオンライン開催

詳細

要事前申し込み・先着100名
日本語のみ（通訳なし）



申込URL

<https://forms.gle/dehJWWZWuz9FUiBe6>



講話1の中国残留孤児 0歳のころ
（日本で撮影）

URL及びQRコードからお申し込みができない場合は、①メールアドレス、②お名前、③連絡先を明記の上、当センターの《問い合わせ》までご連絡ください。
お申し込みの方には後日参加URLをメールにて送付します。

※申し込み締切 6月19日(木)



戦後世代の語り部とは・・・首都圏中国帰国者支援・交流センターが、中国・樺太残留邦人の体験を次世代に語り継ぐために育成した戦後世代の伝承者です（厚生労働省委託事業）

講話1

【7歳の逃避行～命を繋いだ3人の恩人～】

語り部 大輪香菊

東京大空襲で焼け出された一家は満洲に渡る。1945年8月、逃避行中に全ての家族を失った7歳の少年は、たった一人で命懸けの逃避行を行う。中国人に引き取られた後も厳しい中国社会を生き抜き1985年に帰国。80歳を超えた今、何を思うのか？

講話2

【家族を求めて
～中国残留孤児「間瀬珠美」の人生から～】

語り部 長久保まり

置き去りにされていた日本人の赤ちゃんは中国人夫妻に拾われて育つ。17歳の時、自分が日本人であるかもしれないと知るが、そのことを育ての親には最後まで聞けなかった。1991年永住帰国。残留孤児とその家族にとって日本はどんな国だったか？

主催：首都圏中国帰国者支援・交流センター

《問合せ》電話 03-5807-3171(9:30-17:45月祝休館) FAX 03-5807-3174

メール kataribe@sien-center.or.jp

